

2010.03.15 18:00~ (北海道大学原子核理論研究室)

1: 出席者

加藤^a・千葉・片山・平林^b・松本^c・富樫^c・浅野^{c,d}・古立^c・牧永^c・椿原^c・Ichinkhorloo^c・村上^c・吉田^c

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- アジア-アフリカ学術基盤形成が来年度から 3 年間認められた。(加藤)
 - 4 半期ごとに報告義務がある。
 - 1 週間程度の核データ採録の研究会を予定。中国・韓国・インドが対象国。
 - 8 月もしくは 9 月にワークショップを予定。
- 4 月の IAEA 会議の準備について説明。(加藤)
- JCPRG の HP 上で EXFOR 検索が Mac 上の safari では検索ができなかったが、解決した。NRDF と CINDA についても同様な修正をした。(大塚・椿原・村上)
- 分担表に重複を警告する機能をつけるプログラムを調整中。(村上)
- 2008 年度年次報告書完成。(村上)
- 共分散のプログラムについて(富樫) [議論継続]
 - 核データセンターとして公開が可能であるか?
 - 継承者求む。プログラムを渡しただけでは、理解するのは難しい。

3: 議題

- 中性子のデータと光核反応のデータを NEA と Varlamov に通知すべきかを、大塚氏(IAEA)と協議する
 - 大塚氏の返事
 - 中性子データの未採録論文についてはData Bankに通知してください。
 - 光核データについてはプロトコルにより北大が分担することになっている。
 - Varlamovに通知しても良いですが別にしなくても良いと思います。
 - 現状のプロトコル(2009 年 2 月)では、日本のデータは当センターが採録することになっている。
 - 未採録の JPSJ の光核データは 20 編程度なので、暇なときに採録する。

- 今後、光核データの採録をどうすべきか? [議論継続]
- 4月のIAEA会議日程が決定したので、参加を求める。[承認]
 - 加藤・古立は正規参加・その他はオブザーバーとして参加。
 - 現在決定している参加者は、15人。
 - 4月19日 アジア地域会合・レセプション(18時)
 - 4月20日 開会式{総長の挨拶}(10時)
 - 4月21日 会議(9時)・バンケット(17時30分)
 - 4月22日 合意文書編集(午後)
 - 4月23日 合意文書確認(午前)・エクスカーション(午後)
 - エクスカーションは、大型バスをチャーターして支笏湖に行く。
- 2009年度年次報告の締め切りは4月末、猶予期間として5月連休明け。(片山)

次回開催予定日時 2010年4月12日(月) 案 18時00分～

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室